

岩美病院一般病棟中途採用看護師研修プログラム

項目	4月 (4/1(月)~4/30(火))	5月(5/1~5/31)	6月(6/1~6/30)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	1月~3月末	
目標	①職場の雰囲気慣れ、社会人・組織人としての自覚を持ち行動できる ②日勤の流れを理解できる ③支援を受けながら担当患者の看護実践ができる ④支援を受けながら入院・退院時の対応ができる ⑤他部署(シャドーイング)研修 ⑥看護技術の習得状況の確認、電子カルテの操作ができる	①受け持ち患者の看護の展開ができる ②入院患者の受け入れ、対応ができる ③入院患者の初期計画が立案できる ④困った時には上司・プリセプターに相談できる ⑤支援を受けながら夜勤業務ができる ⑥シャドーイング研修参加できている部署へ行く	①夜勤業務が一人立ちできる ②選番業務を経験し病棟の流れを知る ③急変時の対応ができる ④救急患者の受け入れ準備、入院対応ができる ⑤入退院患者への対応ができる	①複数の患者を持ち患者の安全を守り個別性のある看護が展開できる ②受け持ちを持ち、看護過程を展開できる ③チームメンバーの役割が果たせる ④検査手術を受ける患者の看護が展開できる		①②を実施できる	①受け持ち患者の看護過程を展開し、退院支援につなげることが出来る ②チームメンバーの役割を果たすことが出来、協力体制がとれる ③支援を受けて土日の選番業務ができる(10月末)	①危険防止への配慮。緊急時の対応が取れる ②カンファレンスで自分の意見が言える			①1月末までに未実施の基本的看護技術を実施する。	①チームの一員として責任のある行動がとれる ②自己の実践能力を評価し、課題を明らかにすることができる ③ケースレポートをまとめることが出来、3月にケース発表する ④1年間の振り返りと次年度への目標課題を明らかにする
目標達成のための支援	①病院新採用者オリエンテーション(4/1~4/3) ②病棟オリ ・病棟の特徴、役割 ・職員構成 etc. ・病棟の特殊性、構造等 ③担当看護師と共に業務開始、基本技術の実践 ・4/4、5日動シャドー ・4/8~10[サブ1]指導を受けながら4名の看護実践 ・4/12~ [サブ2]指導を受けながら8名の看護実践 ・業務終了時、振り返り実施 ④電子カルテ操作	①他部署研修 ②日勤立ち(評価) ③支援を受けながら夜勤業務シャドー勤務から始め、夜勤の見習いを実施。夜勤時の留意点を事前学習 ・申し込み終了後、夜勤メンバーとカンファレンスを行い、病棟全体を知る ④5月末に夜勤勤務評価、6月から立ち夜勤可能か判断 ⑤業務終了時「振り返り」の実施 ⑥フォローNS(プリセプター、リーダー、アソシエイトナース、教育担当NS、副師長、係長)	①選出業務見習い ②夜勤勤務に備え、基本的看護技術の確認をしておく ※ただし、未習得の技術については確認しながら行う ③薬局(内服の取り扱い、注射の取り扱い方について) ④検査(血ガスの実施、血一般の実施) ⑤夜間外来について ⑥夜間業務オリエンテーションの実施(中旬~)プリセプターより ⑦夜勤立ちできない時は、上司に報告する ・申し込み終了後、夜勤メンバーとカンファレンスを行い、病棟全体を知る	①受け持ち患者の決定(1名より) ②基本技術の取得状況に合わせ、受け持ち患者の人数や患者の重症度などを上げていく ③術前のオリエンテーション、術後の準備(物品、看護ケア)							・立ち ・経験できていない項目を習得できるよう支援する	
基本的看護技術 OJT	■寝衣交換 ■リボン交換 ■食事介助 ■オムツ交換 ■陰部ケア ■体位変換 ■移送 ■清拭 ■身体計測(身長、BW、腹囲) ■VS測定 ■SPO <sub>2</sub> 測定 ■予薬 ■採血 ■電法 ■入浴介助 ■部分浴	■排泄介助(尿器、便器、Pトイレ) ■移動介助 ■無菌操作 ■酸素吸入(マスク、カニューラ、リザーバーマスク) ■注射法 ■包帯法 ■口腔ケア ■吸引 ■経管栄養 ■導尿 ■膀胱内留置カテーテル挿入と管理 ■ガーゼ交換介助 ■回診車の説明 ■吸入(ネブライザー、超音波) ■輸液ポンプ ■シリンジポンプ ■洗腸摘便 ■膀胱洗浄	■救急薬品の取り扱い方 ■ドレーンチューブの管理 ■エンゼルケア ■胸腔・腹腔穿刺 ■気管挿管準備・介助 ■血液培養 ■ECG ■麻薬の取り扱い方	■輸血の実施 ■呼吸機の準備と介助 ■呼吸機の管理 ■サマリー ■血ガス ■CBC測定 ■(P)気管支鏡 ■気切カニューレの支援 ■ルンバル介助 ■マルク介助	■抗がん剤の扱い ■化学療法の実施、観察 ■ストーマの管理							
研修会 ・看護部 各委員会 ・HP主催	・電子カルテ研修 ・オムツ交換研修 ・トランスファー(PT) ・インシデントレポートの記入について ・嚥下について(OTより) ・薬剤の基礎知識(薬局) ・X-P科より ・感染予防、標準予防策 ・栄養管理について(栄養科)	・個人情報研修 ・医療機器の取り扱い方 ・ME機器研修 ・スキンケア ・ポジショニング研修会、マトの説明 ・接遇研修 ・クリティカルパスについて(DM) ・ECG(検査)	・術前・術後の看護研修 ・血ガス・血液一般の実施(検査) ・呼吸機の取り扱い方研修 ・輸血について(検査) ・時間外の注射内服の扱い(薬剤) ・急変時の対応、BLS、ACLS【院内】 ・救急研修(救急薬品、救急蘇生)	・固定チームナーシング研修会(7/26)参加		・医療安全研修会 ・麻薬・化学療法研修(薬局)	看護倫理研修(部長)	防災研修	感染対策研修会		2月 院内看護研究発表 3月 防災訓練	
到達目標 チェックリスト		5月末(2ヶ月)チェック		7月末(4ヶ月)チェック			10月末 (7ヶ月チェック)				2月末 最終チェック(11ヶ月)	
基本的看護技術 チェックリスト	4月末(1ヶ月)チェック	5月末(2ヶ月)チェック		7月末(4ヶ月)チェック	8月末 (5ヶ月チェック)		10月末 (7ヶ月チェック)				2月末 最終チェック(11ヶ月)	
部署の働きかけ	1日目:温かく迎える 病棟の特殊性を理解してもらう 2日目:プリセプターの紹介 チームメンバー、リーダー、サブリーダー紹介 3~5日目:職場適応を促進し安心して業務ができるよう支援する【フォローNsつける】	個人のレベルを見ながら立ち修正。看護技術の確認、夜勤に向けた支援 1回目:シャドー、2回目:受け持ち、3回目:受け持ち評価 疑問を聞きやすい雰囲気作りとフォローアップ	選番業務を経験し病棟の流れを知る 未習得の技術の確認習得援助【他職種への協力依頼】 他チームやヘルパーとの連携が取れるようフォローアップ								看護部のみで症例報告会開催【2年目Nsも報告】	
面接	4月末 師長 適宜 プリセプター 師長 アソシエイトナース 教育 リーダー	4月末 アソシエイトナース 教育 リーダー	6月上旬、 夜勤立ち 立ち面接 6月末 3ヶ月の振り返り (2F)				プリセプター 師長 アソシエイトナース 教育 リーダー	10月末 6ヶ月の振り返り (2F)			プリセプター 師長 アソシエイトナース 教育 リーダー	2月末 最終振り返り (2F)